

野草採取の会

4月12日(金) 小宅橋西側に集合、今年度最初のイベント野草採取の開始です。思川の自然と沢山触れる若草摘みです。参加者 19 名、初めての人も数人参加、3 班に分かれて採取場所に向かいました。



今年は 1 週間早め日取りを設定したことで、ワラビ、コゴミを十分採ることができ、ノカンゾウ、ヨモギ、セリ、クレソン、カキドオシ、ノビル等々12 種の採取ができました。

11 時に再集合し、採取した野草の仕分けをしながら皆さん野草談義。翌日の食べる会にも期待し楽しんでいる様子でした。テレビ小山の取材もあり「思川に思いをはせる会」のPRになればと念じます。(柏崎)



野草を食べる会

4月13日(土) マルベリー館調理室で「野草を食べる会」が開催されました。前日採取した野草「ワラビ、セリ、クレソン、ヨモギ等 12 種類」の説明を柏崎副会長から受けた後調理開始。参加者 16 名は 3 班に分かれ、天ぷら・草餅・胡麻和え・おひたし等を手際よく作りました。初めてノカンゾウの天ぷらを作りましたが思ったより美味しく感じました。

今回は父親と小学生の娘さんの参加があり、草餅を楽しそうに調理している姿がとても微笑ましかったです。

11 時半からめいめいに取り分け、うどんと共に試食を行いました。会長から頂いたホンモロコを、てんぷら、から揚げ、煮物に調理した珍味も食べることができました。副会長からイチゴの提供があり、豪華な試食会となりました。すべての料理がおいしいとの感想で、用意したうどんが足りなくなってしまうほどでした。昨年調査時に見つけた野草が今年はイノシシに食べられてしまいました。気候の変化だけでなく食害でも思川の植物分布が変化するのではないかと心配になります。来年も野草採取ができることを願っています。このイベントは下野新聞社、テレビ小山の取材を受けました。(大出)



思川清掃



6月8日(土) 石の上橋周辺の河川敷でゴミ拾いを実施。参加者は 19 名。一般の方が 6 名(内小学生 2 名)と多く、会の活動の理解者が増えたことに喜びました。

昨年に比してゴミの量も減り、あるところに集中していて、結果、約 20 袋と不法投棄の大型ゴミが数点集まりました。

暑くて大変でしたが、10 時半には終了し、ゴミを前に記念撮影。その後一般の方に向けて会の活動と勧誘を行い解散。

後日 2 名の入会がありました。(渡辺)



アユまつり

8月3日(土) 小山市主催「第 21 回おやま思川アユまつり」に、当会は、思川にすむ生き物の展示コーナーを担当しました。

「小山めだかの学校」のみなさんの協力を得て、8 つの水槽に生きたナマス・コイ・フナ・オイカワ・アユ・カワムツ・タガメ等を展示し、名前当てクイズを実施。思川への新たな興味や関心を広げられました。



また、魚とじかに触れあえる水槽では、子どもたちが、魚の素早い動きや、つかみにくさ、感触に驚いたりして歓声が響いていました。

参加者への景品もあつという間になくなり大好評のうちに終了しました。(早川)



親子釣り体験

10月5日(土) 観昇橋のたもとの河川敷にて「親子釣り体験」を実施しました。

朝方の雨も上がり、会員、漁協の方々、テレビ小山の取材班も準備完了。開始時間の 9 時には 一般参加者 9 組(27 名も集まり、主催者や漁協の方から説明や釣り方の指導があり、それぞれの組にサポーターが付き釣り開始です。初めは竿の扱いに慣れなかったが、いきなりかかって驚いた顔、笑顔も見えました。釣りの感覚が掴めてくるとあちこちから歓声が上がリ、子供たちの気持ちも盛り上がってきました。

終了間際には全組が 10 匹以上釣り上げました。最高 50 匹、20 匹以上の組も 3~4 組いました。親子共々満足された様子。主催者も安堵。素晴らしい「親子釣り体験」でした。(高谷)



思川の源流を訪ねる会

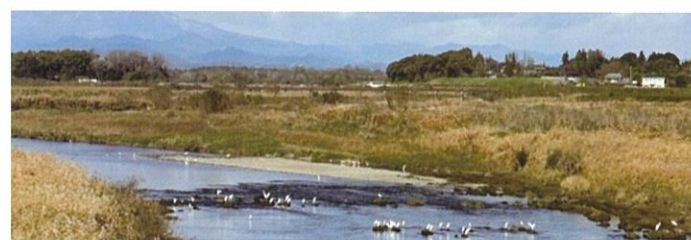
10月27日(日) 参加者 17 名(会員 9 名、一般 8 名)。

今回は思川水系と生態系がよく似た那珂川の生き物を見学し、思川の理解を深める、というもので「なかかわ水遊園」の水族館をバスで訪れた。

館内には那珂川の源流から下流までの自然(陸上から水中まで)を再現した壁面の大水槽が並び、数十種の魚類が展示され、なかなか見応えがあった。初めて見る魚など、思川にもいるかなと想像を巡らす。これ思川で見たとか、捕ったとか言う参加者、中には魚の生態など説明する人もいて、皆さん興味深く観察していた。展示は更に世界の河川へと続き、そこに棲む珍しい生き物に目を奪われ、圧巻はトンネル状のアマゾン大水槽に泳ぐ巨大魚たち、生き物の奥深さを実感した。帰りにはアユやウナギの加工品が評判の「林屋川魚店」に立寄って来た。(高野)



自然観察会



11月23日(土) 勤労感謝の日、羽川西小学校東駐車場に 14 名が集まりました。やや風がありましたが明るい冬の陽射しの中、思川左岸土手を小宅橋まで遡り、橋を越えて右岸をくだりました。カルガモ・ダイサギ・アオサギ・トビ・ノスリイカルチドリ・セグロセキレイなどの鳥やワラビ・アメリカセンダングサ等の植物も神山さん、上村さん、柏崎さんらから説明を受けることができました。

昨年に引き続き、今年もサケの遡上が見られなかったのは残念でした。(早川)



野鳥観察会

1月25日(土) 朝 9 時に観昇橋の東屋に 25 名の方が集合しました。

野鳥観察班の神山リーダーを中心に、各々双眼鏡を持ち、野鳥図鑑を片手に観察をしてきました。観昇橋から市の浄水場へ向かうルートを、野鳥を探しながら時折止まって観察しました。色鮮やかなカワセミ、雄大に飛びタカ科のノスリ、一斉に飛び立つマガモ、トビの特有の鳴き声、大きく波状して飛ぶヒヨドリ、木や繁み群れるエナガなどの小鳥たち、合計 21 種もの野鳥を観察できました。

これだけの野鳥を短時間に観察できるのも、餌が豊富な思川の豊かな自然の恩恵なのでしょう。参加者の皆さんは、十分に楽しめたようでした。(高橋)

